

**平成30年度版**

**学校力向上を目指して！**

# 東小学びのスタンダード



**名寄市立名寄東小学校**

# ～ 目 次 ～

## 東小学びのスタンダードについて

### 第1章「全教職員が徹底・統一して指導する内容」

- (1) 名寄市学習規律（10項目）について 【教務部】
- (2) 名寄東小学校の学習規律（7項目） 【教務部】
- (3) 学習用具
  - ① 学習用具 【研修部】
  - ② 学年ごとに用意してもらう学習用具 【教務部】
- (4) 持ち物 【生徒指導部】
- (5) 板書 【研修部】
- (6) 体育帽子の使用場面 【保健体育部】
- (7) 子どもが忘れ物をした場合 【教務部】
- (8) 子どもが学校に残る場合 【教務部】

### 第2章「全教職員が児童の実態に合わせて指導する内容」

- (1) 生活規律・学習規律 【教務部】
  - ① 朝の会・帰りの会
  - ② 整理整頓
- (2) 学習過程 【研修部】
  - ① 授業の流れ
  - ② 言語活動
  - ③ 振り返り
- (3) ノート指導 【研修部】
- (4) 宿題・家庭学習 【教務部】
  - ① 家庭学習の取り組ませ方
  - ② 宿題・家庭学習の程度
- (5) 給食指導について 【保体部】
  - ① 給食時の動き
  - ② 給食スタイル
  - ③ 給食の準備
- (6) 清掃活動について 【保体部】
  - ① 1～6年生教室の基本的な清掃の手順
  - ② 簡単清掃の手順
  - ③ 書道セット・絵の具セット
- (7) 集団行動 【保体部】
- (8) 保護者との連携 【教務部】
  - ① 学級通信
  - ② 子どもが怪我や病気をした場合
  - ③ 保護者に学校での様子を伝える場合

# 「東小学びのスタンダードについて」

## (1) 目的

①「東小学びのスタンダード」は、子どもたち一人一人の確かな学びや育ちを支えるものとして、名寄東小学校の全ての子どもたちに確実に身に付けさせたい内容を明らかにし、その定着を目指して全校で取り組んでいくものである。

②「東小学びのスタンダード」は、誰が担任になっても、同じルールで指導することにより、児童が安心して学習や生活ができるようにするものである。

## (2) 共通理解

「東小学びのスタンダード」は、教職員の目線で作成したものであり、この内容を基にして全教職員が児童に指導をしていく。

- ① 第1章 → 全教職員が徹底・統一して指導する内容を示したものである。
- ② 第2章 → 全教職員が児童の実態に合わせて指導する内容を示したものである。  
(記載内容は、指導のよりどころとおさえる)

## 第1章「全教職員が徹底・統一して指導する内容」

### (1) 名寄市学習規律(10項目)

【教務部】

#### 名寄市学習のきまり(10項目)

- ① 開始時刻になったら素早く席に着く
- ② 学習の始めのあいさつをきちんとする
- ③ 正しい姿勢で座る
- ④ はっきり返事をし、みんなに聞こえる声で話す
- ⑤ 話す人を見ながら最後まで聞く
- ⑥ むだ話や手遊びをしない
- ⑦ 必要のないものを机の上に置かない
- ⑧ 学習中、勝手に席を離れない
- ⑨ 学習の終わりのあいさつをきちんとする
- ⑩ 学習用具を片付け、次の学習の準備をする

## (2) 名寄東小学校の学習規律 (7項目)

【教務部】

### 「東小学習のきまり」

		低 学 年	高 学 年
学習の心構え	1	<b>つぎのがくしゅうにひつようなものをつくえの上にじゅんびする</b> ・つぎにつかうものをおく。 ・せきをはなれるときは、いすをつくえの下に入れる。	<b>次の学習に必要なものを机の上に準備する</b> ・次に使う教科書やノート、筆記用具など、必要な用具を机の上に置く。 ・席を離れる時、いすを机の下に入れる。
	2	<b>じかんになったらすばやくせきにつく</b> ・とけいを見てこうどうする。 ・みんなでいどうするときは、ならんでしすかにいどうする。 ・どうぐがよいいできているかたしかめる。 ・じゅぎょう中は、かってにせきをはなれない。	<b>時間になったら素早く席に着く</b> ・時計を見て行動する。 ・みんなで移動するときは、ならんで静かに移動する。 ・道具が用意できているか確かめる。 ・授業中は勝手に席をはなれない。
	3	<b>はじめとおわりのあいさつをきちんとする</b> ・先生の目を見て、あいさつをする。 ・ごうれいがかりのかけごえにあわせて、はっきりした声で言う。 ・あいさつがしっかりおわってからうごく。	<b>始めと終わりのあいさつをきちんとする</b> ・先生の目を見て、あいさつをする。 ・号令係にあわせて、はっきりした声で言う。 ・あいさつがしっかり終わってから次の行動をする。
聞く話す態度・集中	4	<b>せすじをのばしてすわる</b> ・せすじをのばして、ふかくいすにこしかける。 ・ひじをつきません。 ・あしをくみません。	<b>正しい姿勢で座る</b> ・せすじを伸ばして深くいすにこしかける。 ・ひじをつかない。 ・あしをくまない。
	5	<b>大きなこえでへんじやはっぴょうをする</b> ・「はい」「～です」「～ます」など、おわりまではっきりとはなす。 ・きいてくれる人を見てはなす。 ・ばしょにあった大きさのこえではなす。	<b>はっきり返事をし、みんなに聞こえる声で発表する</b> ・「はい」「～です」「～ます」など、最後まではっきりと話す。 ・聞いてくれる人を見て話す。 ・場所にあった大きさの声で話す。
	6	<b>はなしている人のほうをみる</b> ・はなす人のほうにからだをむけ、目を見てはなしをきく。	<b>話す人を見ながら最後まで聞く</b> ・話す人の方に体を向け、目を見て話をきく。
	7	<b>むだばなしや手あそびをしない</b> ・さい後までじゅぎょうにしゅう中する。 ・時間があるときは、しすかにまったり、ノートを見なおしたりする。	<b>むだ話をしないで授業に集中する</b> ・最後まで授業に集中する。 ・必要もなく、えんぴつや消しゴムで手遊びをしない。 ・時間がある時は、しすかにまったり、ノートを見直したりする。

### (3) 学習用具

【教務部・研修部・生徒指導部】

学習用具については、できるだけシンプルなものを使用する。キャラクターや飾りが多いと、そちらに気を取られ学習への集中の妨げとなることもある。学習環境を整えるというのがねらいである。

#### ① 学習用具

【研修部】

【ふでばこの中身】

名称	数量	備考
ふでばこ	1	キーホルダーはつけない
鉛筆	5~6	濃さ⇒B・2B <u>飾り(チャームなど)のついたものは使用不可</u>
消しゴム	1	四角いシンプルなもの(MONOなど)
定規	1	15cm程度で透明、メモリがはっきりとしている <u>折りたたみタイプは使用不可</u>
赤鉛筆	1	ボールペンでもよい
青鉛筆	1	ボールペンでもよい
ラインマーカー	1	色の指定なし

【使用するノートの規格】

1年	国語：8マス(中心リーダー入り) 算数：横開き6マス(中心リーダー入り)
2年	国語：12マス(中心リーダー入り) 算数：14マス
3~4年	国語：方眼罫5mm中心リーダー入り 算理社：方眼罫5mm中心リーダー入り
5~6年	国語：タテ罫15行 算理社：方眼罫5mm中心リーダー入り

◎保護者に新年度に向けて準備するよう教務からお知らせのプリントを配布する。

【その他】

※シャープペンは持ってこない。(持ち込み不可)

※三角定規や分度器についても、定規と同様に透明でメモリがはっきりとしているものを使用する。

※ノリはステックタイプのものを1つ。(テープノリは使用しない)

※鉛筆けずり、修正テープは持ち込み不可。

② 学年ごとに用意してもらう学習用具

【教務部】

	学年ごとに用意してもらう学習用具	当該学年まで使用する学習用具
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直定規 →15cm程度～筆入れに入る長さ</li> <li>○鍵盤ハーモニカ →¥5,500程度</li> <li>○算数セット →¥2,300程度</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵の具セット</li> <li>○三角定規</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンパス ※特に手先の器用さが心配な児童には、コンパスで「くるんパス」という商品あり。</li> <li>○習字セット →¥2,000～3,000程度</li> <li>○リコーダー →¥1,000程度</li> </ul> <p>※国語辞典は、基本的に図書スペースのものを使用する。自分の国語辞典を購入し、使用しても構わない。</p>	<p>●算数セット</p> <p>※3年生は、使用頻度が少ないため、1年生に兄弟姉妹がいる場合は、必要な時に借りることを可とする。</p>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分度器</li> <li>○彫刻刀</li> </ul> <p>※国語辞典は、使用開始は3年生だが、初年度は図書スペースにある同じものを使ったほうが指導しやすいとのこと。4年生から書き込みや付箋を貼るなどできる個人のものがあると、6年生まで使える。</p>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○裁縫セット</li> </ul>	<p>●油粘土</p>
6年		<p>上記以外は、基本的に6年生まで使用する。</p> <p>例) ●鍵盤ハーモニカ ●探検バッグ など</p>



## (4) 持ち物

【生徒指導部】

学校への持ち物は、

**その日の①学習、②生活、③健康上、必要な物のみ。**

### ○学習

- ・時間割の教科の教科書類  
(資料集や地図帳等含む※教科書支給されたもの)
- ・ノート
- ・自由帳
- ・クリアファイル
- ・入学時に購入した物  
※筆箱の中身は省略

### ○生活

- ・給食セット
- ・箸、エプロン、バンダナ、ランチョンマット  
これらをまとめる入れ物
- ・バス定期券(携帯など)
- ・ぞうきん

### ○健康

- ・ハンカチ、ティッシュ
- ・薬、マスクなど

**判断のよりどころ**

**「上記以外は、学年通信等で担任から持参依頼された物のみ。」**

## (5) 板書

【研修部】

- ①日付・教科書のページ数を書く。
- ②黒板は2～3分割で使う。(横書きの場合)
- ③「課題」は赤、「まとめ」は青で囲む。
- ④課題⇒課 問題⇒問 まとめ⇒ま のように書くようにする。  
(少人数指導の際の、児童の混乱を避けるため。)
- ⑤線は定規を用いて、しっかりと書く。  
(課題などの囲み線や、下線、算数の筆算の線など)
- ⑥できるだけ、赤や青で文字を書かないようにする。  
(白と黄のチョークを主体に使用する)

## (6) 体育帽子の使用場面

【生徒指導部】

- ①持参帽子⇒遠足、宿泊体験学習、修学旅行
- ②体育帽子⇒上記以外（外での活動は基本的に体育帽子）  
（例 連携学習 ラベンダー活動 教科の校外学習）
- ③体育帽子の色は赤とする。
- ④休み時間の外遊びについては、子どもの判断とする。  
（状況に合わせて児童に声かけをする）
- ⑤登下校時にも帽子をかぶるよう指導する。
- ⑥職員も児童と同じように帽子を使用する。

## (7) 子どもが忘れ物をした場合

【教務部】

子どもが忘れ物をした場合は、担任に伝えることになるが、その後の担任の対応については、以下のことを基本とする。

### ア「基本的に保護者に電話連絡をせず、学校で対応する。」

対応の仕方としては、「先生の物を貸すことを基本とし、学級で対応する。」こととします。場合によっては、クラスの友達の用具を借りることもあるでしょう。いずれにしても、担任が責任をもって対応することになります。  
また、兄弟姉妹であっても「異学年には借りない」ことも共通理解として押さえておきましょう。

### イ「水泳学習の水着関係、スキー学習の用具関係など、別の場所へ行って数時間活動するものについては、やむなしとする。」

やむを得ない場合の判断は難しいですが、上記に加えて例えば、遠足のお弁当であったり、平和音楽大行進の鼓笛Tシャツであったり、行事関係等でどうしても必要である場合を想定しています。いずれにしても、判断に困ったときは管理職に相談しましょう。

## (8) 子どもが学校に残る場合

【教務部】

以下の押さえを基本とし、対応しする。

### ア「放課後は学校に残ることはできない。兄姉と一緒に下校するため、5時間授業の学年が6時間授業の学年を待つこともできない。」

### イ「バスを待つ場合や保護者からの依頼で特別な事情がある場合は、保護者の責任のもと、図書スペースへ解放する。」

放課後、子どもが図書スペースに残る場合は、「誰が残っているか」を担任が把握し、必ず管理職に伝えましょう。また、特別な事情で残る場合の判断は難しいものです。管理職と相談の上、判断しましょう。  
そして、下校時刻（5時間授業→14:30、6時間授業→15:20）を過ぎないように、子どもたちを帰すことはもちろん、クラス全員が下校したかを確認することも大切です。

# 第2章「全教職員が児童の実態に合わせて指導する内容」

## (1) 生活規律・学習規律

【教務部】

### ① 朝の会・帰りの会

- 「歌」か「詩の朗読」に取り組む。
- 内容（進め方）については児童の実態に合わせて行うが、1時間目開始時刻と下校時刻は守るようにする。

### ② 整理整頓

#### ア) 机の上



鉛筆・赤鉛筆・青鉛筆・消しゴム  
定規・教科書・ノート

※左利きの方は逆。

#### イ) 机の中



左側  
筆入れ

右側  
教科書・ノート類

#### ウ) ロッカーの整理整頓



鍵盤ハーモニカ、リコーダーは左側に。

ファイル、資料集、辞書、  
図書類は高さを揃えて右側に。

道具箱、算数セット類は名前が  
書いてある方を前にして中央。  
体育帽子は箱の上に。箱の上に  
ファイルや本が乗る場合もある。

## (2) 学習過程

【研修部】

### ① 授業の流れ

「課題」や「まとめ」はもちろん、

**「前時の振り返り・本時の見通しー課題ー課題解決の見通しー  
個人思考ー集団解決ーまとめー振り返り（習熟）」**

この流れを基本とし、授業を進めるようにしましょう。でも…算数科など、課題の立たない授業、問題＝課題であるときもあるかもしれませんが…「まとめ」までを35～40分以内に終わらせて、振り返り（習熟）をしっかりとしよう！！

（理想は、振り返りを10分確保する。）

### ② 言語活動～ペア・グループ交流

○学習の中にペア・グループなど交流の場(言語活動)を設定する。

⇒ねらいは「表現」する力を高めることです。あくまでも、思考力・判断力・表現力を高めるための手段なので、言語活動をすることが目的とならないように気をつけましょう！！

○言語活動のねらいを明確にし、何のために行うのかを明確にする。

⇒教師側はもちろん、子どもにも何のために交流するのかがわかるようにする。

- ①確認する ②参考にする(=発想を広げる)  
③対比する(⇒共通点を見つける・相違点を見つける)  
④結論を出す(=○検証する) ⑤意見を求める

⇒1時間の中における、課題解決に向けた言語活動であるということ意識し、そこに結びつくための言語活動でなくてはならない。「活動(交流)あって学びなし」とならないよう注意する。

※集団解決場面では、授業の展開に合わせた発言が求められます。机間指導やペア・グループ交流の場面を活用して、集団解決場面において学び合いにつながる考え方を探すようにしましょう。

### ③ 振り返り（まとめ・習熟）を大切にする】

本時の課題（問題）を解くことができたのか。どういう方法で解決すると良いのかを振り返り、「できた」「わかった」の達成感・満足感をもたせることが大切！！次時への興味・関心や、家庭学習につながるようなものにしたいですね！！そのためにも、「授業の流れ」に戻りますが、この振り返りの時間を確保し、まとめまでを35～40分以内で終わらせる学習展開にしましょう！！

### (3) ノート指導

【研修部】

ノートは何のために書くのでしょうか？子どもに暇を与えないため？字をたくさん書いて定着させるため？いろいろなお考えがあると思いますが、1番の目的は、子どもが振り返りをするためです。宿題や家庭学習をする際に活用できるような、あとで見返したくなるような見やすいノートづくりを心掛けさせましょう。ノートは「スッキリ」「見やすく」です！！

- ①毎時間、日付・教科書のページ数を書く。※板書と同じ
- ②1～2ページで、1時間の授業分となるようにする。
- ③「課題」は赤、「まとめ」は青で囲む。※板書と同じ
- ④線は定規を用いて、しっかりと書く。  
(課題などの囲み線や、下線、算数の筆算の線など) ※板書と同じ
- ⑤自分の考え(思考)が残るようなノートにする。
- ⑥黒板の色とノートの色を対応させる。

黒板	白	赤・黄・白	青・緑
ノート	黒	赤	青

### (4) 宿題・家庭学習

【教務部】

放課後、家に帰ってから、あるいは休日に、自分で時間を決めて学習に取り組む習慣をつけることは、小学校のみならず中学校に進学しても必要な学習習慣のひとつです。小学校のうちから計画的にその習慣づけを行うことはとても大切だと考えます。

#### 【名寄東小学校としての押さえ】

- 「宿題」… 学校から出された課題。  
(プリント、日記、漢字練習、計算練習)
- 「家庭学習」… 児童自らが内容を設定し行う課題。  
(上記の他に調べ学習やドリル)

◎**取り組み方と程度は①②に示されているが、新年度及び各学期を目安に、教務部を中心に状況を把握し、担任間で交流を図る。**

#### ① 家庭学習の取り组ませ方

- ノートの端に、日付と始めた時刻、終わった時刻を書く。  
(例:「3:00~4:00」)
- 取り組む学習の内容を書く。(例:「言葉の意味調べ」「漢字練習」)
- 予習よりも、その日に習ったことなどの「復習」を中心に取り組む。  
(例:昨日今日の授業でやった教科書の練習問題など)
- 原則、自分で丸付けをして、間違ったところはやり直す。  
(例:自分の学習ノートを見て、授業で答えあわせをしたものを参考に)

## ② 宿題・家庭学習の程度

1年生	宿題がメイン。週1ペースで家庭学習を導入。 【時間】 20分程度 【分量】 B5ノート1～2ページ分 / A4プリント1枚分程度 【内容】 <国語> 教科書の音読や書き写し、ひらがな・カタカナ練習、日記など。 <算数> たし算ひき算の練習など。 <その他> 草や花の絵をかく、虫の名前を調べてみるなど。
2年生	宿題がメイン。週1ペースで家庭学習を導入。 【時間】 30分程度 【分量】 B5ノート1～2ページ分 / A4プリント1枚分程度 【内容】 <国語> 教科書の音読や書き写し、漢字練習、本を読んだ感想、作文など。 <算数> かけ算などの計算練習、自分で文章問題をつくってみるなど。 <その他> 植物や生き物の観察をしたり、図鑑で育て方などを調べてみるなど。
3年生	宿題と家庭学習の程度は半々。児童の実態に応じて変えることも。 【時間】 40分程度 【分量】 B5ノート2～3ページ分 / A4プリント1～2枚程度 【内容】 <国語> 教科書の音読、漢字練習、辞典を使った意味調べ、読書感想文など。 <算数> 計算練習、ドリルやテストの間違った問題に取り組むなど。 <その他> 理科や社会で習ったことについて自分なりに調べてまとめるなど。
4年生	宿題と家庭学習の程度は半々。児童の実態に応じて変えることも。 【時間】 50分程度 【分量】 B5ノート2～3ページ分 / A4プリント1～2枚程度 【内容】 <国語> 教科書の音読、漢字練習、辞典を使った意味調べ、読書感想文など。 <算数> 計算練習、ドリルやテストの間違った問題に取り組むなど。 <その他> 理科や社会で習ったことについて自分なりに調べてまとめるなど。
5年生	家庭学習をメインとし、必要に応じて宿題を併用する。【ノートを2冊準備する】 【時間】 60分程度 【分量】 B5ノート2～4ページ分 / A4プリント2枚程度 【内容】 <国語> 教科書をすらすら読めるようになるまで音読、漢字練習、辞典を使った意味調べ、読書感想文など。 <算数> 計算練習、ドリルやテストの間違った問題に取り組む、苦手な単元に重点的に取り組むなど。 <その他> 調べ学習→理科や社会の授業で習ったことについて自分なりに調べてまとめる。資料を活用し、グラフや表にまとめるなど。
6年生	家庭学習をメインとし、必要に応じて宿題を併用する。【ノートを2冊準備する】 【時間】 70分程度 【分量】 B5ノート2～4ページ分 / A4プリント2枚程度 【内容】 <国語> 教科書をすらすら読めるようになるまで音読、漢字練習、辞典を使った意味調べ、読書感想文など。 <算数> 計算練習、ドリルやテストの間違った問題に取り組む、苦手な単元に重点的に取り組むなど。 <その他> 調べ学習→理科や社会の授業で習ったことについて自分なりに調べてまとめる。資料を活用し、グラフや表にまとめるなど。

## (5) 給食指導

【保健体育部】

### ① 給食時の動き

- 完食した人から片付けをする。
- 最後に「ごちそうさま」をする。

### ② 給食スタイル

- 「いただきます」をしてから、教員の指導のもと食べる量を調節する。
- 全部食べきったら、おかわりができる。
- デザートは、最後に食べる。  
(完食してから食べることを基本とする)
- 休んだ人の給食は、おかわりに入れる。
- 残食で職員がおにぎりをつくることはしない。
- 残食は、全て給食センターに戻す。  
(牛乳やパンなど、職員室に持ち込まない)

### ③ 給食の準備 (教育計画の給食係に詳しく記載)

- 箸・スプーン・フォーク・ランチョンマットを持参する。
- エプロン・三角巾を保管用袋とともに持参する。など

## (6) 清掃活動

【保健体育部】

### ① 1～6年生教室の基本的な清掃の手順

教室の後方に机を移動させた状態から清掃開始

- 1) 教室の前方の床をモップがけする。
- 2) 下雑巾を絞り、手のひらサイズでまわしながら拭く。  
(汚れているところを中心に全面を拭く)
- 3) 教室の前方に机を移動する。
- 4) 教室の後方の床をモップがけする。
- 5) 雑巾がけをする。
- 6) もとの位置に机を戻す。
- 7) 机を拭く。

**雑巾はバケツに水をくんで絞る！  
水飲み場は使用不可！**

### ② 簡単清掃の手順

- 1) 教室の後方に机を移動する。(児童はそのまま動かない)
- 2) 教室の前方を担当がモップがけをする。
- 3) 教室の前方に机を移動する。
- 4) 教室の後方を担当がモップがけをする。
- 5) もとの位置に机を戻す。
- 6) **当番で給食の後片付けをし、その他の人で教室の環境整備  
(黒板消し、ゴミ捨て、机の整頓等)に努める。**
- 7) **全員で挨拶をして終わる。**

### ③ 書道セット・絵の具セット (教育計画に記載)

- 習字の筆は書き終わった半紙で拭き取り、持ち帰って洗う。
- 水彩絵の具のパレットは、持ち帰って洗う。
- 習字と絵の具の使用場所の制限はない。水彩絵の具を教室で使用する場合は、トイレの水道で筆をすすぐ。図工室を使用する場合は、図工室(理科室も可)で筆をすすぐ。授業が終わった後は、必ず担当がチェックする。

## (7) 集団行動

【保健体育部】

運動会など、学校全体での集団活動の際に、以下のようなハンドサインを使うことがあります。学級の実態に応じて活用しましょう。

【ハンドサイン】

○座る → グー

○立つ → パー

○列数 → 指の数